

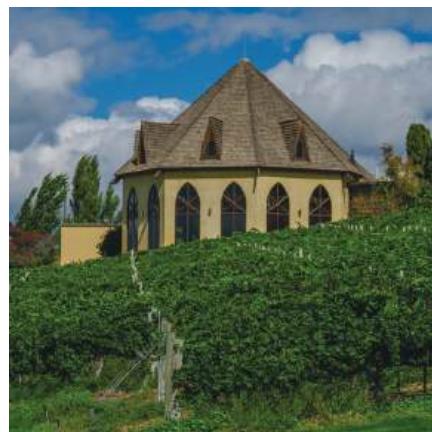
A scenic landscape featuring rolling green hills in the foreground and middle ground, with majestic snow-capped mountains visible in the background under a clear blue sky.

Always. Growing.

成長が続く場所

IDAHOTM

アイダホ州農務省



A GREAT PLACE TO GROW.
成長の地、アイダホ

PLANT YOUR ROOTS IN IDAHO'S DIVERSIFIED AGRIBUSINESS SECTOR
アイダホ州の多様なアグリビジネスで成長しましょう



- 理想的な気候
- 西部で最も内陸に位置する海港
- 最高水準の農業研究
- 強力な食品加工業



Growing Strong.

力強く育つ



アイダホ州の農業は今、大きく成長しています。現に、農業と食品加工はアイダホ州の総経済生産高の17%、州内総生産（GDP）の12%以上を占めています。州の生産は現金収入において常に記録を更新し、食品および飲料加工は州で2番目に大きな製造業部門となっています。

アイダホ州には25,000か所の農場と牧場があり、185種類以上の農産物を生産しています。農作物や家畜の25種類以上の品種において、その生産量が全米トップ10にランクインしています。

アイダホ州の恵まれた気候、最先端の技術、広範囲にわたる灌漑システム、交通インフラ、そして何よりも仕事に誠実で熟練した人々の存在が成長の秘訣であり、アイダホの恵みとも言えます。



VALLEY

Climate +
Irrigation.

気候 + 灌溉



理想的な環境

気候が甘みを凝縮する

アイダホ州の生育期の日中の暖かさと夜間の涼しさの寒暖差により、アイダホ州特産のジャガイモはより甘くなり、固形分が多くなります。乾燥した気候と寒い冬のおかげで、米国の他の多くの地域と比較すると害虫や病気による被害が少ない、理想的な生育環境を享受できます。

農業の生命線－水

アイダホ州北部の年間降雨量は通常約25インチ（約63cm）で、この地域では乾燥地農業が成り立っています。南東部の標高の高い地域でも、乾燥地農業が行われています。

アイダホ州南部の年間降雨量は、約12インチ（約30cm）です。ダム、貯水池、運河からなる大規模なシステムにより、耕作面積の74%にあたる320万エーカーの土地での灌漑が可能となります。

「アイダホのナイル川」と呼ばれるスネーク川は、南部の大部分を蛇行しながら流れおり、貴重な水源となっています。スネーク川平原は、世界最大級の淡水帯水層のひとつである、2億エーカー・フィート（約2,466億m³）の水を含む広大な帯水層の上にあります。

灌漑用水と豊かな火山性土壤が組み合わさり、アイダホ州の農業生産の大部分を支える肥沃な環境が生まれます。

A photograph of a blue and orange locomotive pulling a red shipping container on a track. The locomotive has the number 3821 on its front. The shipping container has the number S 470651. The word "WANT" and the number "3821" are painted on the side of the locomotive.

Transportation.

輸送

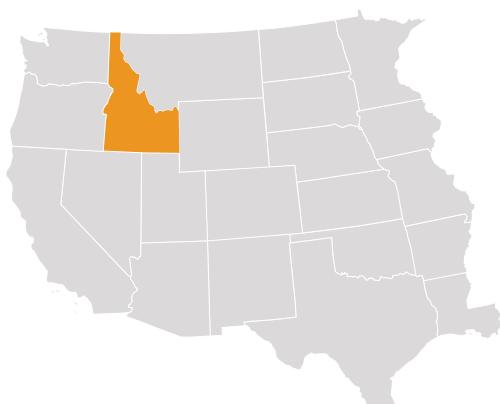


輸送

アイダホ州の総合的な輸送システムにより、農産物や加工品は国内外に輸送されます。アイダホ州は太平洋岸北西部に位置し、海岸に近いため世界市場へのアクセスが容易です。

河川

内陸465マイルにあるルイストン港には、クレーン、倉庫、穀物貯蔵施設が整備され、西海岸への最も費用対効果の高い流通経路の一つである、河川はしけ輸送が利用できる環境となっています。



道路

- ・5つの州間高速道路
- ・20の国道
- ・30の州道

鉄道

- ・年間1億トンの貨物を輸送する1,500マイルの鉄道



Food Processing.

食品加工



食品加工は、アイダホ州で2番目に大きな製造業部門です。フライドポテトからチーズ、ワインに至るまで、おいしさにこだわって製造しています。

最高品質の原材料、コスト効率の良いエネルギーと労働力、豊富な天然資源。これらが揃うことで、付加価値加工に理想的な立地が実現します。アイダホ州には、大手メーカーや定評あるブランドのほか、専門食品や飲料のニッチなサプライヤーも進出しています。

加工される原料

- ・乳製品
- ・穀物
- ・魚類
- ・家畜
- ・タマネギ
- ・ジャガイモ

主要な加工メーカー

- ・AB InBev
 - ・Chobani
 - ・Lamb Weston
 - ・Idahoan Foods
 - ・J.R. Simplot Company
 - ・McCain Foods
 - ・Sorrento Lactalis
- アイダホ州全体で200社以上の企業
が食品加工を行っています。

その他の食品飲料の一例

- ・パン
- ・菓子
- ・ドレッシング
- ・ドライミックス
- ・ジャム・ゼリー
- ・クラフトビール
- ・ウォッカ・ブランデー
- ・ワイン



Livestock.

畜産



アイダホ州の酪農業は広大な土地と地元で生産される飼料、効率的な輸送システムといった恵まれた環境に支えられ、牛乳生産量で全米トップ4に入っています。

乳製品

経済的影響

アイダホ州の年間牛乳生産量（130億ポンド、約600万トン）は20億ドルを超えるとされ、酪農はアイダホ州最大の農業分野となっています。

はい、チーズ！

アイダホ州は米国第3のチーズ生産地であり、チェダー、コルビージャック、モッツァレラ、イタリアンスタイルのチーズ、クリームチーズ、カッテージチーズ、低温殺菌プロセスチーズなど、多彩な製品でチーズ市場を支えています。アイダホ州では、毎年8億ポンド（約40万トン）以上のチーズが生産されています。

その他の乳製品

その他の製品には、ドライホエイ、ホエイプロテイン、ホエイプロテインアイソレート、ホエイプロテインフラクション、パーミエート、ラクトース、脱タンパクホエイなどがあります。

アイダホ州で生産されるドライミルク製品には、無脂肪ドライミルク、脱脂粉乳、全粉乳、ミルクパウダー、ミルクプロテイン、チーズパウダー、ドライバターミルクなどがあります。

アイダホ州で販売されているその他の乳製品には、バター、ドライクリーム、サワークリーム、ドライミルクカルシウム、アイスクリーム、アイスクリームミックスがあります。

さらに、アイダホ州には、最新鋭かつ世界最大規模のヨーグルト工場があります。



牛肉

牛の飼育頭数は全米有数

牛と子牛の飼育頭数で全米第13位を誇るアイダホ州には、約7,500か所の肉牛生産農場があり、210万頭以上の牛が、主に家族経営で飼育されています。

どんな好みにも合う豊富な種類

アイダホ州の牧場主は、グレインフェッド、グラスフィニッシュ、オーガニック、自然飼育など、様々な牛肉を生産しています。アイダホ州は、アメリカスタイルのKOBEビーフにおいて、全米有数の生産地の一つであり、世界中の高級レストラン、ホテル、小売チェーンに販売されています。

研究所

アイダホ州の牛肉産業はナンシー・M・カミングス研究普及教育センターによって支えられています。同センターは、母牛・子牛および飼料の研究施設であり、実際に稼働している牧場を活用して、牛の飼育や生産に関する研究のために、土地や施設を提供しています。

同センターはまた、米国西部山間部の畜産業に貢献することを目的とし、動物および環境に関する研究を通じて、継続的な教育の機会を提供しています。現在、研究は繁殖効率、飼料効率、放牧期間の延長、越冬システムに焦点を当てた研究を行っています。

アイダホ州の牛肉に関するその他の事項

- ・アイダホ州には、全米トップ15に入る繁殖用牛の育種に特化した牧場が3か所あります。
- ・米国で2番目の規模を誇る牛、子牛生産事業者はアイダホ州に拠点を置いており、3万頭以上の母牛を飼育しています。
- ・トップ10に入る肥育事業者のうち、2社がアイダホ州に拠点を置き、計18万頭以上の飼育能力を誇ります。
- ・米国で10番目に大きな牛肉加工事業社の本社がアイダホ州ボイシー市にあります。



羊と子羊

羊の飼育はアイダホ州で最も古くから続く産業の一つです。アイダホ州では21万頭の羊を飼育しており、羊と子羊の飼育数で全米トップ10に入ります。年間の羊毛生産量は500万ポンド（約2,300トン）に上ります。

アイダホ大学はワシントン州立大学と提携し、アイダホ州デュボア市に、羊の研究・教育センターを設立しました。同センターは放牧生態と羊管理システムに重点を置き、羊産業と環境の両立に資する研究を行っています。

豚肉

アイダホ州の豚肉加工の歴史は1904年に遡ります。加工業者は主に、塩漬け肉、生ソーセージ、ナチュラルポーク、そして霜降りと豊かな風味で世界中から高く評価されている黒豚といった特産品を製造しています。



Crops.
農作物



アイダホ州が全米一のジャガイモ生産州であることは万人の知るところです。米国産ジャガイモの30%を生産しています。

名産のジャガイモ

ジャガイモを食べたことがある人なら、アイダホ州についてはご存知でしょう。「Famous Potato」の愛称で親しまれているアイダホ産のジャガイモは、そのおいしさから、全米さらには世界中で高い評価を得ています。

アイダホ州はジャガイモの生産量で全米トップ

アイダホ州の生産者は、30万エーカー（約12万ヘクタール）以上の土地で、年間100億ポンド（約450万トン）以上のジャガイモを生産しています。

アイダホの栽培環境は農家にとって有利：世界最高のジャガイモ

日中は温暖で夜間は涼しい気候で、火山が生んだ栄養たっぷりの土壌。こうした自然環境に恵まれて、ぎゅっと身の詰まったジャガイモが育ちます。これが、ほくほくした焼きジャガやカリッと揚がったフライドポテトの秘訣です。

ジャガイモはいくらあってもいい

アイダホ州産ジャガイモの中で最も有名なのはラセット種ですが、ユーコンゴールド、レッド、フィンガーリングなど、30種類以上の品種を栽培しています。

ジャガイモ加工はここでこそ意味がある

アイダホ州のジャガイモ収穫量の50%以上が、ポテフレーク、ハッシュブラウン、フライドポテト、そして特産品に加工されています。高品質な原材料が手に入るから、世界トップクラスのジャガイモ加工メーカーがアイダホに拠点を置いています。市販の冷凍フライドポテトは、1940年代にJ.R.シンプロット社によってアイダホで開発されました。



小麦

アイダホ州産小麦の約50%は海外市場で販売されており、主要輸出品のひとつとなっています。

アイダホは5種の小麦すべての生産に成功している世界でも数少ない地域の一つです。

州産小麦の総収穫量の半分以上は軟質白小麦です。

アイダホの小麦農家は、1エーカーあたりの収穫量において、全米でトップクラスを誇ります。

収益面で見ると、小麦はアイダホ州でジャガイモに次ぐ第2位の農作物です。

アイダホ州はまた、米国最大の硬質白小麦の生産地です。

小麦は、アイダホ州の44郡のうち42郡で栽培されています。

大麦

アイダホは大麦の主要生産州であり、麦芽用と飼料用の両方の品種を栽培しています。

大麦の総生産量の75%以上は麦芽用で、その大半は高品質の麦芽製造や醸造を目的とした二条大麦です。

アイダホ州のパールバーリー（精白大麦）は、付加価値食品として人気が高まっています。

最高品質の麦芽用大麦が安定的に供給されることから、Anheuser-Busch InBev、InteGrow Malt、Great Western Maltinといった企業がアイダホ州に進出しています。

干し草（ヘイ）

アイダホ州の干し草（ヘイ）は高タンパク質で知られ、世界中の酪農や馬の飼育に利用されています。

アイダホは、認証オーガニックヘイの生産量で全米第1位、アルファルファヘイの生産量では全米第2位です。

アルファルファはアイダホの干し草総生産量の80%以上を占め、その収穫量は年間400万トン以上です。

標高が高く乾燥したアイダホの気候は、乾燥工程に最適な条件を備えています。

主要なアルファルファ種子会社はアイダホ州に施設を構え、州の気候に適した優れた遺伝子開発を行っています。



てんさい

アイダホ州はてんさいの生産量で全米第2位であり、全米の総生産量の20%を占めています。

てんさいは昔からアイダホで4番目に生産額の多い作物です。

850人以上のてんさい農家が、約17万5000エーカー（約7万ヘクタール）の土地でてんさいを栽培し、毎年600万トン以上を収穫しています。

てんさいは主にアイダホ州南部のスネーク川渓谷の灌漑地域で栽培され、ポール、ツインフォールズ、ナンパの工場で精製されています。

工場では、グラニュー糖、粉砂糖、液糖、ブラウンシュガー、ベタインを製造しています。

アイダホ州ポールにある工場は、米国最大のてんさい加工工場です。

種子

アイダホ州の種子は世界最高品質と評価されており、120カ国以上、南極大陸を除くすべての大際に出荷されています。

アイダホは、世界で生産されるハイブリッド温帯スイートコーン種子の70%を栽培しています。

ニンジン、タマネギ、カブ、レタスなどの野菜に加え、アルファルファやケンタッキーブルーグラスの種子においても、アイダホは有数の供給元となっています。

高地の乾いた環境と厳しい冬の寒さ、そして徹底した規制体制により、病害虫の発生はごくわずかです。

トレジャーバレーには、世界クラスの種子会社が拠点を置いています。





オイルシード

アイダホ州で最も成長の早い作物の一つがオイルシード（油糧種子）です。

主な作物には、キャノーラ、ベニバナ、マスタード、菜種、ヒマワリ、亜麻などがあります。

アイダホは、キャノーラの生産量で全米第4位です。

亜麻仁とマスタードシードは、抗がん作用とオメガ3必須脂肪酸の含有量から、健康食品分野で爆発的な成長を遂げています。

アイダホ大学の「アブラナ科植物育種研究プログラム」は、油糧種子産業の研究開発で大きな貢献を果たしています。同プログラムは、全米でも高く評価されており、アイダホの多様な環境や、工業加工、バイオディーゼルなど、幅広い用途に適した優良品種の開発に取り組んでいます。

エンドウ豆・レンズ豆

アイダホ州北部は、全米における乾燥エンドウ豆・レンズ豆の生産の中心地です。この地域の革新的な農法と品質管理方法により、これらの豆類は大きさと色が均一に保たれ、缶詰やパッキングとして海外でも人気を博しています。

アイダホ産の豆類粉やでん粉は、その機能面と栄養面の利点から、食品加工用途での需要が高まっています。

アイダホ州は4万エーカー（約16,000ヘクタール）のひよこ豆栽培面積を有し、全米有数の生産州の一つとなっています。フムスやその他のスナック食品メーカーの需要にも応えています。



タマネギ

アイダホ州のトレジャーバレーはオレゴン州のマルヒュア郡とあわせて、全米のイエローオニオンの25%以上を生産しています。特に、アイダホの農家はスペインスイート品種を栽培しており、この品種のマイルドな風味は家庭から外食業者、製造加工業者まで広く好まれています。

アイダホ州とオレゴン州東部の生産地域は、米国で連邦マーケティング・オーダー（第958号）によって管理されている唯一の貯蔵用タマネギ地域です。連邦検査局は毎日検査を実施し、タマネギが等級、サイズ、外観、成熟度の要件を満たしていることを保証し、優れた品質を約束します。

この地域では30か所を超えるタマネギのパッキング施設があり、タマネギの保管、梱包、市場販売が行われています。地域の加工業者は、丸ごと皮をむいたタマネギや、急速冷凍したダイスカット、オニオンリングも製造しています。

豆類

アイダホの乾燥食用豆種子や園芸豆の種子は世界最高品質で最も病気にかかりにくい種子であると考えられています。アイダホ州での成功は、主に同州の独特の気候と厳格な品質管理の取り組みによるものです。

アイダホ州では、乾燥した気候とハイテク灌漑のおかげで、常に病気のない乾燥食用豆も生産しています。アイダホの明るく淡い色の食用うずら豆は市場で非常に人気があります。

果物

リンゴはアイダホ州の主要な果物であり、年間6,000万ボンド（約27,000トン）を超える収穫量があります。アイダホでは、レッドデリシャス、ゴールデンデリシャス、グラニースミス、ガラ、フジなどの品種を栽培しています。ピンクレディーやハニークリスピなどの新しい品種の生産は、市場の拡大とともに大きな利益を上げています。

アイダホの果物は主に、作物の生育期間が長い南部を横断するバナナベルトと呼ばれる地域で栽培されています。この地域では昼間の暖かさと夜間の涼しさが糖度を高め、サクランボ、リンゴ、桃、アプリコット、プラム、ブルオット、ブドウがよく育ちます。

アイダホの果物はその優れた色と風味が高く評価されています。



ミント

アイダホ州はミントの生産量で全米第3位を誇ります。アイダホ州の農家は1960年代からミントを商業栽培してきました。栽培されているミントの多くはペパーミントですが、アイダホの乾燥した気候と肥沃な土壌ではスペアミントも同様によく育ちます。

アイダホにある17,000エーカー（約7,000ヘクタール）のミント畠からは、200万ポンド（約900トン）を超えるミントオイルが生産されます。アイダホのミントオイルは国内および世界市場で販売されており、歯磨き粉、マウスウォッシュ、ガム、菓子、医薬品など、さまざまな製品に添加されています。

ワイン

スネーク・リバー・ヴァレーA.V.A.（ブドウ栽培地域）は、2007年に政府の指定を受けました。気候はワシントン州コロンビアヴァレーA.V.A.に似ており、標高と緯度はスペインの有名なリオハ地方の高地に匹敵します。

アイダホ州のワイン産業は過去10年間で急成長し、2002年に11か所だったワイナリーは、現在50か所を超えています。

1,600エーカー（約650ヘクタール）を超えるブドウ畠では、ワイン用ブドウと食用ブドウの両方が生産されており、一般的な品種にはリースリング、カベルネ・ソーヴィニヨン、メルロー、シャルドネなどがあります。

長い夏と水はけのよい土壌は、果実の風味が豊かでバランスの取れたブドウを育てるための重要な要素です。

アイダホのワイン産地とその生産者は、ワイン愛好家、小売業者、レストラン経営者、そしてアイダホ州を「一流のワイン産地となった」と称賛したサンセット・マガジンを含む多くのメディアから全国的な注目を集めています。

ホップ

アイダホ州では、年間3,000エーカー（約1,200ヘクタール）以上のホップが栽培されており、その生産量は全米第3位を誇ります。

ホップはアイダホ州の2つの異なる地域で栽培されています。多くは暖かく乾燥した南西部で生産されていますが、一部は涼しく湿潤な北部パンハンドル地域で栽培されています。2つの地域では栽培条件や生産方法が異なるため、ホップの品種が多数存在します。

A photograph of a man with short brown hair and a beard, wearing a brown zip-up hoodie, crouching down in a greenhouse. He is looking closely at several tall, green plants growing in white pots. In the background, two other men are standing near a whiteboard with various diagrams and text. One man is wearing glasses and a dark shirt, while the other has a mustache and is wearing a blue plaid shirt.

Research.

リサーチ



革新的な研究

アイダホ州では、生産者と業界パートナーが市場で競争力を維持し続けられるよう、イノベーション、生産性向上、製品強化を促す農業研究への投資を優先しています。

アイダホの研究プログラムの多くは全国的に認知されており、コモディティー委員会を含む、意欲的で協働にも前向きな商品産業が官民の研究開発パートナーシップを支えてくれているのは、非常にありがたいことです。

アイダホ大学（U of I）の農学生命科学部は、州政府の土地が付与され実地教育を担っており、包括的でアクセスしやすい農業教育プログラムを提供しています。同大学の地域支援拠点や研究センターは、農業分野における業界最大の知的資産です。州内5か所の研究センターはサービス提供先産業のニーズに応えることに専念しています。

アイダホ大学パルマ研究センターおよび果樹学プログラムはリンゴ、桃、プラム、アプリコット、サクランボ、ブドウに関する研究で国際的な称賛を得ています。このプログラムはアイダホ州へのフジリンゴの導入、果物の鮮度保持期間の延長、貯蔵中の果物の品質

向上、食用ブドウとワイン用ブドウの果実品質の改善など、アイダホ州の果物栽培者が直面する様々な生理学的及び環境関連の問題や課題に取り組んでいます。

農業教育プログラムは、レックスバーグのブリガムヤング大学アイダホ校、ポカトロのアイダホ州立大学、ツインフォールズのカレッジ・オブ・サザン・アイダホ、ナンバのカレッジ・オブ・ウェスタン・アイダホなど、州内に戦略的に配置された他の多くの高等教育機関でも提供されています。

重要な連邦政府の研究施設がアイダホ州の農業産業を支えています。アバディーンの小粒穀物およびジャガイモ遺伝資源研究ユニットには、1988年より国立小粒穀物コレクションが所蔵されています。その名が示すように、このユニットの研究活動はジャガイモと小粒穀物の遺伝資源の改良に重点を置いています。

アイダホフォールズにあるアイダホ国立研究所は、バイオエネルギー分野における最先端の技術開発拠点です。同研究所のバイオエネルギープログラムでは、高品質な原料バイオマスの供給、原料バイオマスの高度なバイオエネルギー原料への前処理、そしてバイオエネルギー原料商品の供給に取り組んでいます。



Quality Assurance.

品質保証



農場にもビジネスにも優しい取り組み

アイダホ州の気候は農業生産に理想的ですが、政治情勢や文化的風潮も生産者のさらなる成功に貢献しています。アイダホ州では、農業環境、そして農場から食卓まで食品を届けるために懸命に働く勤勉な農場主や牧場主に対する支援があります。アイダホ州には、特定の商品や農業全般を推進する団体が50以上あります。このような協会は厳格な品質基準を保証し、生産者を支援し、市場での機会の拡大を手助けします。

アイダホ州農務省（ISDA）も産業の成功と消費者の安全を確保するために農業の規制を行い、また促進する上で極めて重要な役割を果たしています。ISDA内にある6つの部門がアイダホ州法に定められた60以上の条項の施行と運用を担い、数十種類のライセンス、登録、認証を行っています。収穫期にはISDAの稼働規模はほぼ3倍になり、生産者が一貫した高品質の製品を保証できるよう、十分な検査官、格付担当官、品質保証スタッフを増員します。ISDAは業界、他の州政府機関、米国農務省、数多くの地元団体と協力し、アイダホ州が誇る最高の農作物やサービスを消費者や取引先に確実に届けられるよう取り組んでいます。

The background of the entire image is a photograph of a rural landscape at sunset. The foreground is filled with tall, golden-brown grass or wheat. Beyond it, the land slopes upwards through various shades of green and brown, with small farm buildings and roads visible. The horizon is marked by a range of mountains, and the sky above is a vast expanse of orange, yellow, and blue, with wispy clouds.

アイダホ州農務省
2270 Old Penitentiary Road
Boise, Idaho 83712 USA

208.332.8500 | agri.idaho.gov | info@agri.idaho.gov